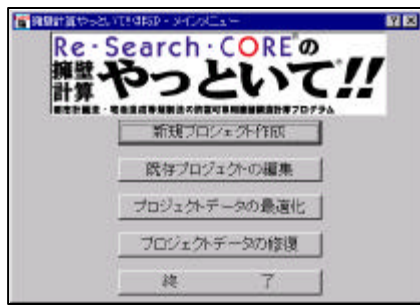
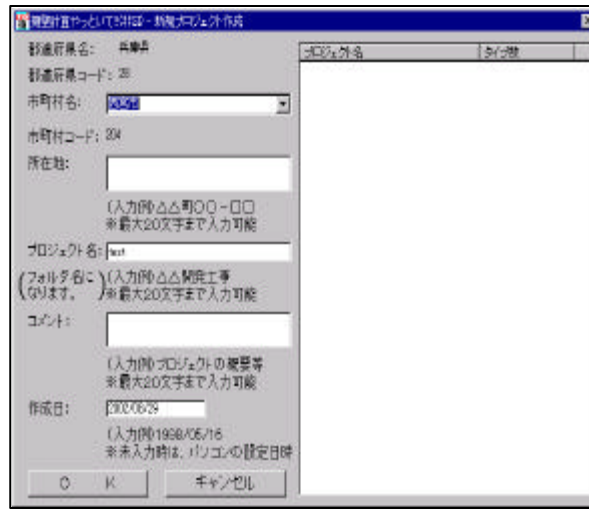


A. 初心者編

1. 起動画面に続いてメインメニューが開きます



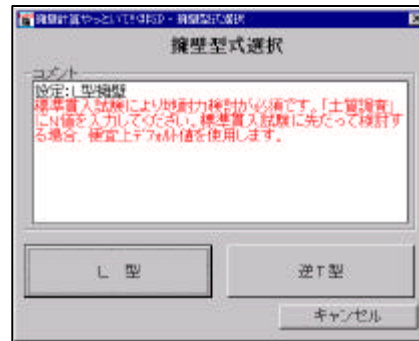
新規プロジェクト作成 をクリック



プルダウンで市町村を選択します  
ここで選択した市町村に適合する基準によって計算します

所在地、プロジェクト名、コメントを入力してください

2. システムメニュー



選択した市町村によってデフォルト値が設定されているので、

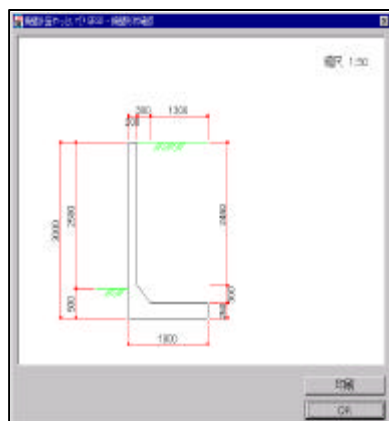
地質調査資料  
表示範囲重  
型式選択:形状設定  
がない場合は  
を選択するだけで、形状入力が出てきます。

3. 擁壁型式選択

L型を選択すると「L型擁壁形状設定」画面となります



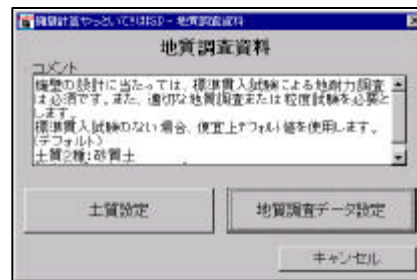
コメント内容を確認の上、数値入力していきます。通常、わかっているのは、地上高と天端巾だけです  
**地上高h(2.5)を入力します**  
数値に応じて、根入れh'等の数値が変わります(ただし、一度大きくなった数値は小さくなりません)  
とあり、**形状確認** をしてください



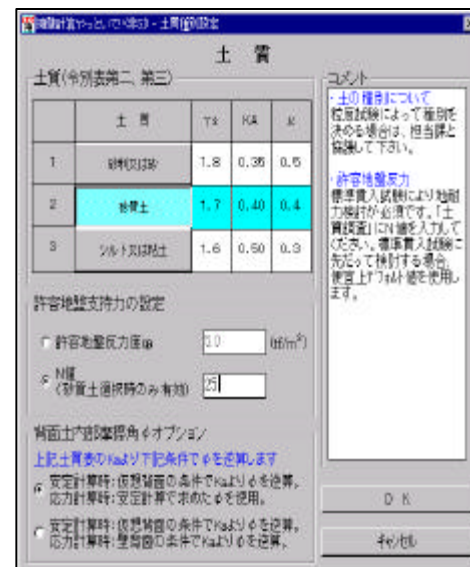
少しバランスが悪いようですが  
OK を押して前の画面に戻り  
安定計算 を押してみます

西宮市は地耐力調査を必須としているので、デフォルト値は便宜上5 t/m<sup>2</sup>としています  
N値から地耐力を設定する場合(砂質土)

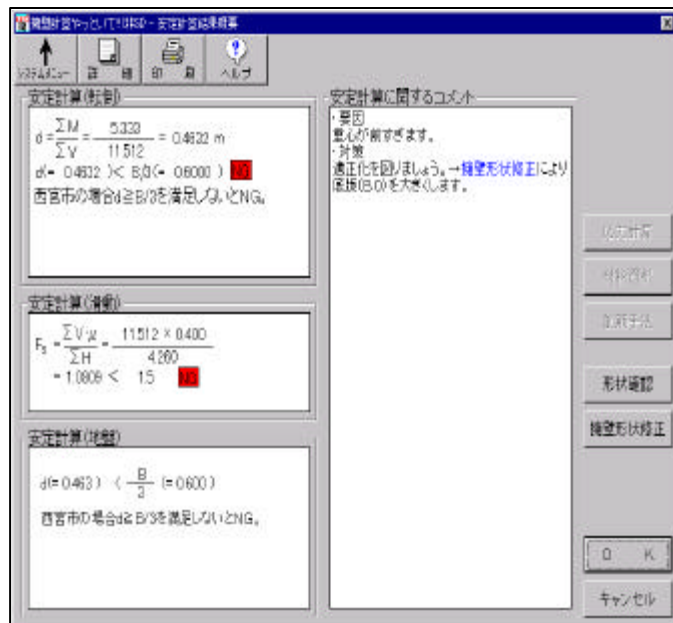
地質調査資料 を選択



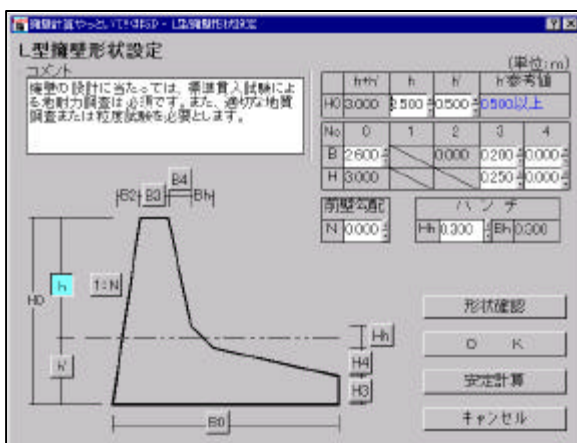
土質設定 を選択



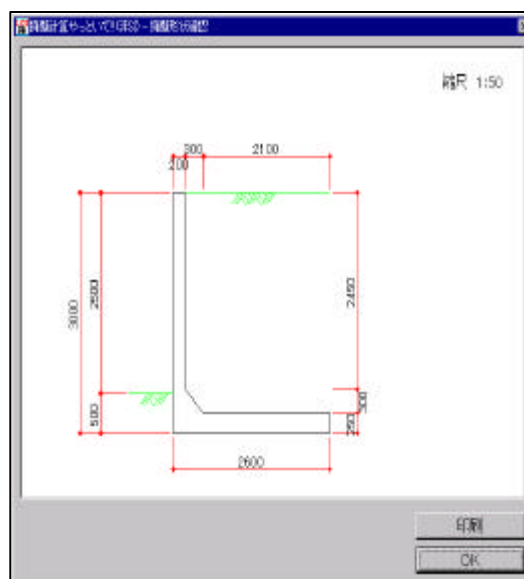
ボリング調査によるN値を入力



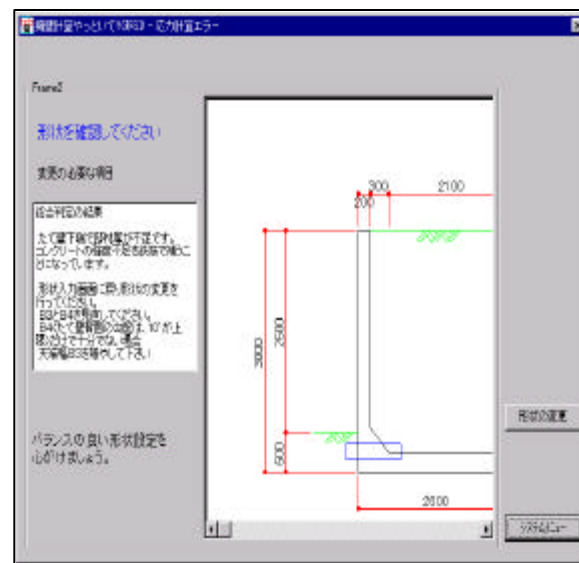
コメントにしたがって  
 種壁形状修正 を選択して B0 を変更します



形状確認(少し薄っぺらそうですね)    とりあえず安定計算



やはり薄かったようですね  形状の変更 で B4 修正後  安定計算



これで一応開発許可基準が満足する計算が出来ました(この間5分程度)

